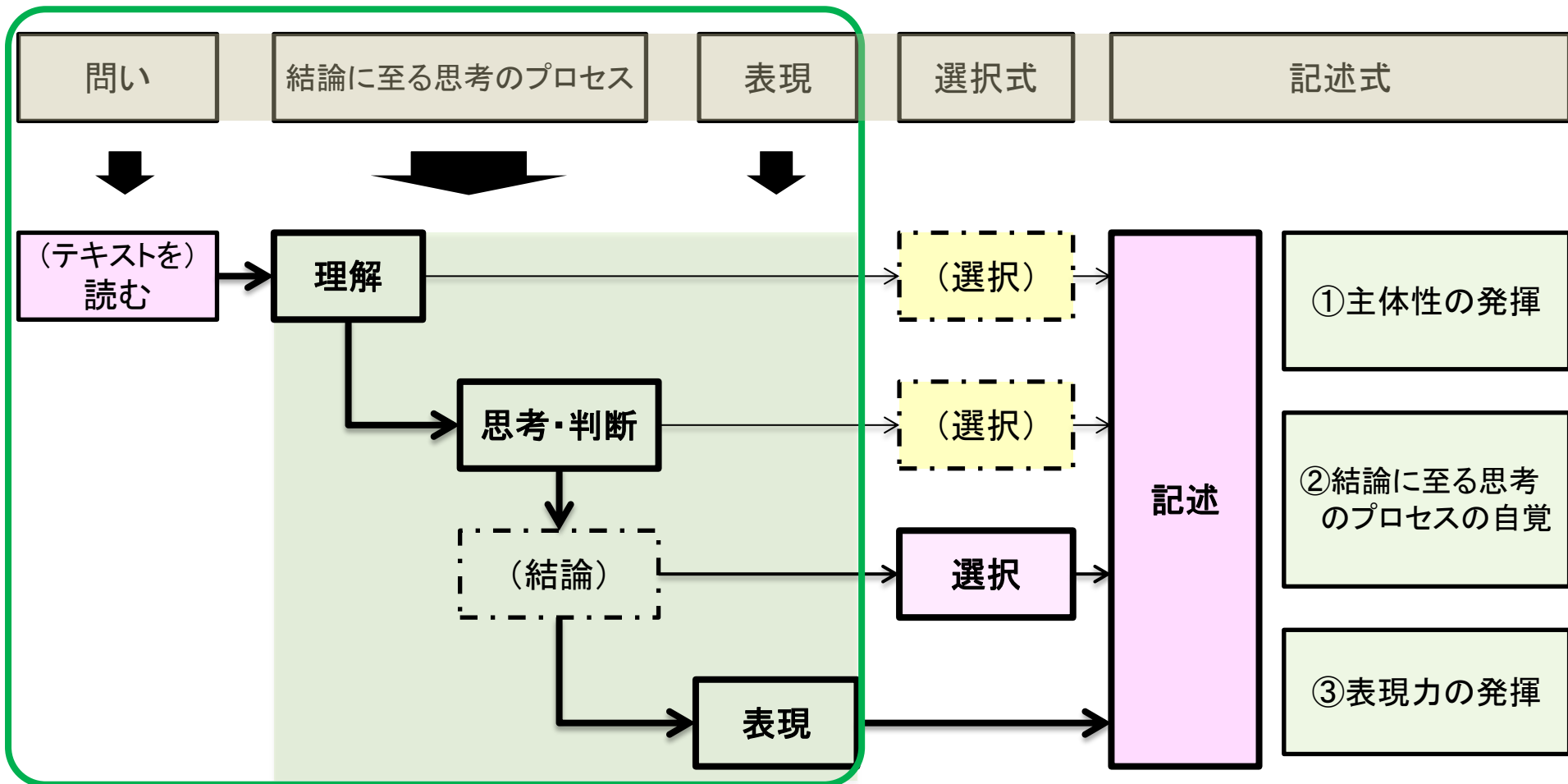


思考のプロセス等と解答形式の関係

資料 2

平成28年6月30日
「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」
作問方法検討チーム・採点方法検討チーム
(合同会議) 資料 2

I 選択式と記述式



II 問の枠組みと選択式／記述式

問い

主に、テキストの内部の情報を利用

①テキスト内部の情報の取り出し

主に、選択式

短答式

②テキスト内部の複数の情報の統合・解釈

主に、選択式

条件付き記述式

主に、テキストの内部に限定されない情報
(解答者が有する既得の知識)を利用

③テキストの形式の熟考・評価、論述(形式) ※

主に、条件付き記述式

④テキストの内容の熟考・評価、論述(内容)

主に、解答の自由度の高い記述式、小論文

※形式＝文体、議論の組み立て、議論の説得力、論調、用語、読み手に訴える手法など

国語科で育成し、評価すべき資質・能力（イメージ）（教育課程部会国語WGの5/31資料も参考に作成）

I 知識・技能	II 思考力・判断力・表現力		III 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度		
	(i) 文章（情報）の理解力、理解した内容の表現力	ii) 考えの形成力、その表現力			
		PISA 読解力(2009年)	PISA 読解力(2009年)		
1 言葉の働き、役割に関する理解 2 国語の特徴や決まりに関する理解と使い分け ①語、語句、語彙に関すること ②文の成分と文の構成に関すること ③話し方、聞き方、表現の工夫に関すること 3 伝統的な言語文化に関する理解	1 文章（情報）を読み取る力 ①述べられている事実を抽出し、把握する力 ②何が述べられているか、何が述べられていないかを読み取る力	○「情報へのアクセス・の取り出し」	1 自らの考えを形成する力 ①提示された情報を、妥当性や信頼性を吟味し取捨選択しながら編集し、さらに既知の情報や自らの経験、感情等と統合しながら新たな考えとして形成する力	※ 左記の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の継続的な修得と発揮を支え、主導する非認知的な能力、志向性など （言葉に関する興味・関心、言葉を尊重し、これを適切に用い、大切にしようとする態度など）	
	2 文章（情報）の内容を理解する力 ①主張や主題を把握する力 ②主張の根拠や理由を理解する力 ③抽象的な表現や難しい表現の意味、内容を文脈から理解する力。また、描かれた事物について、相互の関係や目的、場面、文脈、状況等を理解する力 ④文章（情報）を理解し、要約する力 ⑤提示された情報や、描かれている内容を分析した上で推論する力 ⑥描かれた人物の心を想像したり、意図や感情を読み取ったりする力	○「統合・解釈」（幅広い理解の形成、解釈の展開）	2 形成した考えを表現する力 ①1で形成した考えについて、構成や方法を工夫しながら的確に表現する力 （表現する過程で、自らの考えについての再検討、再整理が伴う。）		（論述(内容)）
	3 文章(情報)の構造を把握する力 ①文章の構成を把握する力 ②表現の特色を把握する力	○「熟考・評価」のうち、テキストの形式の熟考・評価			
	4 理解したことがらについての的確に表現する力 ①上記1～3で理解したことがらや考えをまとめるプロセスについて、構成や方法を工夫しながら構造化して的確に表現する力 （表現する過程で、内容の理解についての再検討、再整理が伴う。）	（論述(形式)）			

→ 共通テストで評価の対象とすべき領域

(→国公立二次、個別試験)

(→調査書、面接等)

国語科で育成し、評価すべき資質・能力（イメージ）（教育課程部会国語WGの5/31資料も参考に作成）

I 知識・技能	II 思考力・判断力・表現力		III 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
	(i) 文章（情報）の理解力、理解した内容の表現力	ii) 考えの形成力、その表現力		
<p>1 言葉の働き、役割に関する理解</p> <p>2 国語の特徴や決まりに関する理解と使い分け</p> <p>①語、語句、語彙に関すること ②文の成分と文の構成に関すること ③話し方、聞き方、表現の工夫に関すること</p> <p>3 伝統的な言語文化に関する理解</p>	<p>1 文章（情報）を読み取る力</p> <p>①述べられている事実を抽出し、把握する力 ②何が述べられているか、何が述べられていないかを読み取る力</p>	<p>○「言葉の特徴やきまりに関する理解と使い分け」や「言葉の使い方に関する理解と使い分け」等、「知識・技能」を用いて、的確に読みとること</p> <p>○「情報へのアクセス・の取り出し」</p>	<p>○「熟考・評価」のうち、テキストの内容の熟考・評価</p> <p>※ 左記の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の継続的な修得と発揮を支え、主導する非認知的な能力、志向性など</p> <p>（言葉に関する興味・関心、言葉を尊重し、これを適切に使い、大切にしようとする態度など）</p>	
	<p>2 文章（情報）の内容を理解する力</p> <p>①主張や主題を把握する力 ②主張の根拠や理由を理解する力 ③抽象的な表現や難しい表現の意味、内容を文脈から理解する力。また、描かれた事物について、相互の関係や目的、場面、文脈、状況等を理解する力 ④文章（情報）を理解し、要約する力</p> <p>⑤提示された情報や、描かれている内容を分析した上で推論する力</p> <p>⑥描かれた人物の心を想像したり、意図や感情を読み取ったりする力</p>	<p>○創造的思考とそれを支える論理的思考を行う際、「情報を多角的・多面的に精査し、構造化する力」の要素として必要な、 ・推論及び既有知識・経験による内容の補足、精緻化 ・論理（情報と情報の関係性：共通－相違、原因－結果、具体－抽象等）の吟味・構築</p> <p>○「統合・解釈」（幅広い理解の形成、解釈の展開）</p> <p>○感性・情緒の側面として必要な、「言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力」</p> <p>○他者とのコミュニケーションを行う際、「言葉を通じて伝え合う力」の要素として必要な、 ・相手との関係や目的、場面、文脈、状況等の理解 ・相手の心の想像、意図や感情の読み取り</p>		<p>○「情報を多角的・多面的に精査し、構造化する力」における、 ・妥当性、信頼性等の吟味</p> <p>○考えを形成し深めるための、 ・情報を編集・操作する力 ・新しい情報を、既に持っている知識や経験、感情に統合し構造化する力 ・新しい問いや仮説を立てるなど、既に持っている考えの構造を転換する力</p>
	<p>3 文章（情報）の構造を把握する力</p> <p>①文章の構成を把握する力 ②表現の特色を把握する力</p>	<p>○「創造的思考とそれを支える論理的思考」、「感性・情緒」、「他者とのコミュニケーション」における、「構成・表現形式を評価する力」</p> <p>○「熟考・評価」のうち、テキストの形式の熟考・評価</p>		<p>○「言葉を通じて伝え合う力」における、 ・自分の意思や主張の伝達</p>
	<p>4 理解したことがらについての的確に表現する力</p> <p>①上記1～3で理解したことがらや考えをまとめるプロセスについて、構成や方法を工夫しながら構造化して的確に表現する力 （表現する過程で、内容の理解についての再検討、再整理が伴う。）</p>	<p>○「他者とのコミュニケーション」における、「言葉を通じて伝え合う力」</p> <p>○考えを形成し深める力における、「情報を編集・操作する力」</p>		<p>（論述（内容））</p> <p>（論述（形式））</p>

→ 共通テストで評価の対象とすべき領域

(→国公立二次、個別試験)

(→調査書、面接等)

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力、人間性等

- 言葉の働きや役割に関する理解
- 言葉の特徴やきまりに関する理解と使い分け
 - ・言葉の位相、書き言葉（文字）、話し言葉、敬語、方言
 - ・語、語句、語彙
 - ・文の成分、文の構成
 - ・文章の構造（文と文の関係、段落、段落と文章の関係）
- 言葉の使い方に関する理解と使い分け
 - ・話し方、書き方、表現の工夫
 - ・聞き方、読み方、音読・朗読の仕方
 - ・話合いの仕方
- 書写に関する知識・技能
- 伝統的な言語文化に関する理解
- 文章の種類に関する理解
- 情報活用に関する知識・技能

国語で理解したり表現したりするための力

【創造的思考とそれを支える論理的思考の側面】

- 情報を多角的・多面的に精査し、構造化する力
 - ・推論及び既有知識・経験による内容の補足、精緻化
 - ・論理（情報と情報の関係性：共通－相違、原因－結果、具体－抽象等）の吟味・構築
 - ・妥当性、信頼性等の吟味
- 構成・表現形式を評価する力

【感性・情緒の側面】

- 言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力
- 構成・表現形式を評価する力

【他者とのコミュニケーションの側面】

- 言葉を通じて伝え合う力
 - ・相手との関係や目的、場面、文脈、状況等の理解
 - ・自分の意思や主張の伝達
 - ・相手の心の想像、意図や感情の読み取り
- 構成・表現形式を評価する力

≪考えの形成・深化≫

- 考えを形成し深める力（個人または集団として）
 - ・情報を編集・操作する力
 - ・新しい情報を、既に持っている知識や経験、感情に統合し構造化する力
 - ・新しい問いや仮説を立てるなど、既に持っている考えの構造を転換する力

- ・言葉がもつ曖昧性や、表現による受け取り方の違いを認識した上で、言葉が持つ力を信頼し、言葉によって困難を克服し、言葉を通して社会や文化を創造しようとする態度
- ・言葉を通じて、自分のものの見方や考え方を深めようとするとともに、考えを伝え合うことで、集団の考えを発展させようとする態度
- ・様々な事象に触れたり体験したりして感じたことを言葉にすることで自覚するとともに、それらの言葉を互いに交流させることを通して、心を豊かにしようとする態度
- ・言葉を通じて積極的に人や社会と関わり、自己を表現し、他者の心と共感するなど互いの存在についての理解を深め、尊重しようとする態度
- ・我が国の言語文化を享受し、生活や社会の中で活用し、継承・発展させようとする態度
- ・自ら進んで読書をし、本の世界を想像したり味わったりするとともに、読書を通して、知らないことを知ったり、経験のないことを体験したり、新しい考えに出会ったりするなどして人生を豊かにしようとする態度

言語能力を構成する資質・能力が働く過程(イメージ案)

